40~60歳代*の男性へ

*:昭和37年4月2日~昭和54年4月1日生まれの方

上記男性のご家族やパートナーの方もお読みください

できていますか? 風しん対策



医療機関名



国の事業のひとつとして行われている 「風しんの追加的対策」

現在、風しんおよび先天性風しん症候群の発症を予防し、国民の健康を守る国の事業として「風しんの追加的対策」が行われています(以下、本事業と言います)。

本事業の対象となるのは、**昭和37年4月2日~昭和54年4月1日** 生まれの男性です。

この年代の男性は、予防接種法に基づく風しんワクチンの接種を 受ける機会がなかったため、他の年代に比べて風しんに対する 免疫(風しん免疫)のある人が少ないのです*。

免疫がないと風しんウイルスに感染しやすく、おとなの場合、 症状が重症化したり長く続くことがあります。また、たとえ 無症状であっても大切なご家族やパートナー、友人、職場の 同僚など、他人に感染させてしまう可能性があります。それに より妊娠20週頃までの妊婦さんが感染してしまうと、障がい (先天性風しん症候群)を持った赤ちゃんが生まれてくる可能性 があります。

これらを防ぐには感染しないことが重要であり、まずは、抗体検査を受け、風しん免疫があるかの確認から始めましょう。

ご家族やパートナーの方も「風しんの追加的対策」に積極的に参加するよう、背中を後押ししてください。

^{*:}同じ世代でも女性は中学生の頃に学校で風しんワクチンの接種を受けているため、 9割以上の方は風しん免疫があります。

風しん対策 **Q**&**A**



風しんとはどんな病気ですか?



風しんは、風しんウイルスによる感染症で、主な症状として発疹と発熱、リンパ節の腫れが現れます。また脳炎や血小板減少性紫斑病(出血を止める血小板という血液の成分が減少して、血が止まりにくくなったり、体に紫斑があらわれます)などを合併し、入院が必要になる場合もあります。おとなが感染すると発熱や発疹が長く続き、関節痛がひどくなることが多く、さらに妊娠20週頃までの妊婦さんが感染するとお腹の中の赤ちゃんも感染することになり、難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達の遅れ等の障がい(先天性風しん症候群)を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

風しんの症状は、ウイルス感染後2~3週間して現れますが、症状が現れない方も15~30%程度いると言われています。 風しんウイルスは、感染者の飛沫(唾液のしぶき)を吸い込んだり、接触などによって他人にうつります。発疹が現れる1週間前~発疹が現れた1週間後まで、他人への感染力があると言われています。





おとなの風しんってあまり聞きませんが、それほど 多いのですか?



過去には、2012~2013年の2年間で16,000人を超えるほどの、全国的な風しんの流行がありました。その後はおさまっていましたが、2018~2019年にかけて再び5,000人を超える風しんの流行があり、その約8割が男性で、30~50歳代が中心でした(図)。また、2013年に風しんが流行した時の感染原因を調べると、成人(20~60歳)の6割以上が「職場感染」であったことがわかりました。

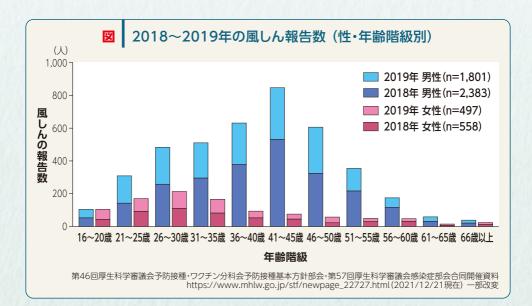
Q

「こどもの時に風しんにかかった」と親に言われていますが、抗体検査は必要ですか?



風しんにかかった記憶がある人に血液検査を行ったところ約 半分は風しんに対する抗体が陰性でした。風しんに似た他の 病気にかかっていたことが考えられます。

風しんにかかったことが血液検査などで確かめられていない 場合は、風しん抗体検査で確認しましょう。





過去に何度か風しん抗体検査のクーポン券が届いていましたが、使っていません。 このクーポン券を使っても良いですか?



クーポン券の有効期限を確認してみてください。

ただし、自治体(市区町村)によっては年度を超えて有効期限を設定している場合があるので、クーポン券の記載事項をご確認いただくか、住民票のある自治体にご確認ください。この他にも、紛失してしまった場合や、転居・単身赴任をした場合の対応など、クーポン券について詳しく知りたい場合は、住民票のある自治体にお問い合わせください。



風しんの抗体検査はどこで受けられますか?



風しん抗体検査は以下のいずれかで受けることができます。

- ① 本事業に参加している診療所や病院などの医療機関(全国 4万ヵ所以上。休日・夜間対応できるところもあります) ※下記の「本事業に参加している医療機関のリスト」のサイトで探すことができます
- ② 企業にお勤めの方は、職場の定期健康診断の時
- ③ 国民健康保険の被保険者等の方は、特定健康診査の時 抗体検査を受けるときは、クーポン券を忘れずに持参しましょう。

■ 本事業に参加している医療機関のリスト

風しんの追加的対策における抗体検査や予防接種を受けられる医療機関は以下の サイトで探すことができます

厚生労働省・風しんの追加的対策について「風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html#h2_free2

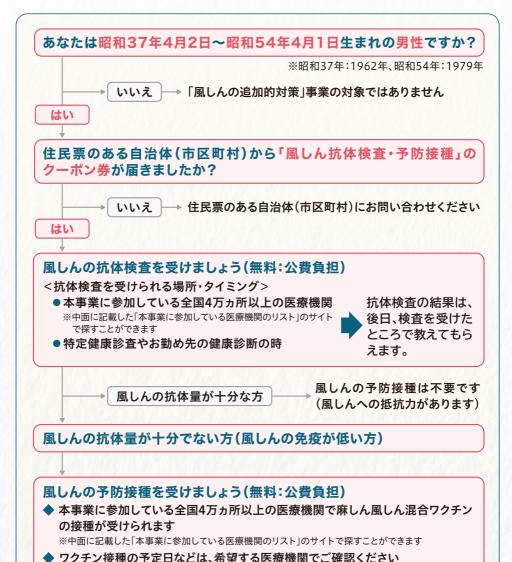


- 本書は以下を参考と致しました。詳細はそれぞれのサイトでご確認ください
- ●風しんについて:国立感染症研究所・風疹Q&A https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/rubellaQA180130.pdf
- 先天性風しん症候群について:国立感染症研究所・先天性風疹症候群に関するQ&A https://www.niid.go.jp/niid/ja/crsqa.html
- 風しんの追加的対策について:厚生労働省・風しんの追加的対策について https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

風しん抗体検査と風しん予防接種

風しんの感染拡大防止のために行われる「風しんの追加的対策」事業は、無料(公費負担)で風しん抗体検査を受けることができ、風しんに対する免疫があるかを確認できます。

風しんに対する免疫が低い(抗体量が十分でない)と判定された方は、無料(公費負担)で 麻しん風しん混合ワクチンの接種を受けることができます。



(3-5-0623) 2022年3月作成